

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

v o 1.63

ITAMI大好き!

2015年12月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポスティング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告しています。



相崎佐和子

## 国土交通省に要望！ ～飛行場問題対策特別委員会視察～

11月10～11日、「飛行場問題対策特別委員会」の視察で東京へ。伊丹空港（大阪国際空港）があるわが伊丹市。市議会では空港の諸課題を協議対策する特別委員会を設置しています。この委員会メンバーと正副議長で国土交通省へ要望に行きました。

### ■国土交通省に要望！

伊丹からの要望事項は以下の通り。①大阪国際空港のあり方、②安全対策の一層の充実、③騒音・環境対策の推進、④空港機能の活用と地域振興支援、⑤経営統合の基本方針の見直し、⑥コンセッションの実現。

市議会から安全と環境（騒音）対策、今後の方向性（コンセッション含）等種々質問が重ねられました。伊丹空港の国際便の復便（国際便は現在関空に限定されている）については、第一段階として国際チャーター便の活用拡大を要望。国交省の答弁は「両空港の地元による新たな合意・運営権者との十分な話し合いが必要」とのこと。例年より少し踏み込んだ答弁も、方向性は変わらず。コンセッション後の話になるでしょうが、国交省にはぜひフォローをお願いしたい。

いずれにせよ伊丹空港について安全と環境に万全の配慮を施した上で活性化していけるよう、活動を展開してまいります。



### ■整備工場などを見学

#### ●「JAL 安全啓発センター」

1985年の日航機墜落事故。事故の教訓を風化させず安全運航を再認識する場として2006年に開設されたセンターです。JALグループ社員の研修施設ですが、希望者は見学可能とのことで見せていただきました。

事故内容は改めて書くまでもございませんが、JALの安全に対する意識の高さを感じられる施設でした。JAL社員は必ずここで研修を受けるそう。説明員の元整備士さんが「ここに来ると本当に気が引きしまる」と仰っていたのが印象的でした。

安全について、地元市として直接できることはないのですが、間接的に安全向上についての要望活動を重ねていく必要性を再認識しました。



#### ●「JAL 整備工場」「ANA 整備工場」

LCCの急激な需要増で航空業界全体において整備士が不足しています。整備担当者に何うと「整備は一朝一夕で身につかない。長期的な整備士の育成に力を入れる必要性を強く感じている」とのこと。よろしくお祈りしますと強くお伝えしました。

